

皮膚科

スタッフ紹介



診療部長
ふくもと たいし
福本 毅
教授 (H17)
炎症性皮膚疾
患・皮膚腫瘍

ますだ ほうし 益田 浩司	准教授 (H8)	アレルギー性皮膚疾患
まるやま ありの 丸山 彩乃	講師 (H21)	皮膚腫瘍・皮膚外科、アレルギー性皮膚疾患
いおか なつえ 井岡奈津江	助教 (H13)	アレルギー性皮膚疾患、皮膚科一般
たい けいまさ 田井 志正	助教 (H14)	皮膚外科、皮膚科一般
かねまる まい 金丸 麻衣	助教 (H22)	皮膚科一般
いまむら しんや 今村 真也	助教 (H25)	皮膚科一般

私たちの業務

◆ 皮膚疾患全般にわたる総合的診療

皮膚疾患全般の総合的診療を行っています。一般外来、専門外来、外来手術・処置、理学療法、入院加療により、アトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患、皮膚腫瘍、水疱症、膠原病、感染症などの広い分野の皮膚疾患の治療を行っています。難しい症例については検討会にはかり、全員で議論して、適切な診断、検査、治療ができるよう配慮しています。皮膚疾患全般において常に最新の知見や技術を取り入れて、最善の診療ができるよう努力しています。また、必要に応じ、他科との連携治療を行っています。

◆ 専門外来及び特殊理学療法の充実

一般外来のほかに、アトピー、腫瘍、乾癬、皮膚外科、蕁麻疹、リンパ腫、アレルギーの各専門外来を設け、経験豊富な医師による診療を行っています。また母斑、粉瘤などの小手術を手術予約外来で行っているほかに、アレルギーの検査としてパッチテストやプリックテストを積極的に行っています。紫外線療法では従来から行われてきたPUVA療法に加え、ナローバンドUVB装置も導入しています。

◆ 急な容体の変化にも24時間対応

医療ニーズは健康意識の高まりとともに、高度化・専門化してきています。皮膚科医が24時間待機する当院救急外来では、患者様の急な容体の変化にも24時間対応できる体制を整え、適切な治療を速やかに提供しています。

◆ 入院による治療

入院を要する疾患については、医師、看護師、管理栄養士などによるチームで診療にあたり、毎週火曜日に行われるカンファレンスでは、医局員全員で治療方針につき検討します。また院内他科との関係も密に取り合い、総合的に治療を進めます。皮膚悪性腫瘍をはじめ手術を必要とする疾患、膠原病や自己免疫性水疱症、またアトピー性皮膚炎の教育入院、薬剤アレルギーの精査、乾癬に対するナローバンドUV-B療法導入入院など、幅広く受け入れています。

外来診療担当医師予定表

令和8年6月1日現在

曜日	月		火		水		木		金	
	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師	外来名	担当医師
皮膚科	初診	福本 毅 教授	初診	金丸麻衣 医員	初診	井岡奈津江 医員	初診	益田浩司 准教授	初診	丸山彩乃 講師
	//	服部淳子 医員	再診	今村真也 医員	再診	水谷浩美 医員	再診	安村香菜子 医員	再診	中村健太郎 医員
	9:00~10:00		//	丸山彩乃 講師	//	外園綾華 医員	//	井岡奈津江 医員	//	横井友紀 医員
	再診	澤 杏樹 医員	//	服部淳子 医員	//	木原絵理子 医員	//	小西悠介 医員	//	安池理紗 医員
	//	金丸麻衣 医員	蕁麻疹	益田浩司 准教授			炎症性皮膚疾患	福本 毅 教授		
(午後)		安井茉緒 医員	蕁麻疹(予約)	益田浩司 准教授						

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
●湿疹 アトピー性皮膚炎 接触皮膚炎	特異的アレルギー検査、原因検索（パッチテスト等） 症状に応じた外用療法、内服療法、生物学的製剤等	原因検索や生活指導を積極的に行います。 詳細な問診の上アレルギー検査を実施。
●蕁麻疹	血液検査、特異的アレルギー検査 内服療法、生物学的製剤	必要に応じて原因の検索を行います。蕁麻疹外来（毎週火曜日）
●中毒疹・薬疹 薬剤・感染症によるもの 等	血液・尿検査、皮膚生検、原因薬剤同定検査など 原因の除去、抗アレルギー剤内服、ステロイド剤外用など	薬剤が原因として疑われる場合には、他科とも連携をとり、被疑薬剤の変更等を指導します。積極的に検査を行っています。
●水疱症 主として自己免疫性水疱症（尋常性天疱瘡、類天疱瘡など）	皮膚生検、血中自己抗体定量など ステロイド剤全身投与、免疫抑制剤全身投与、血漿交換	原則として入院で治療を行います。
●炎症性角化症 乾癬、類乾癬、扁平苔癬、毛孔性紅色粒糠疹	皮膚生検、血液・尿検査など 悪化因子の除去、外用療法、レチノイド内服、免疫抑制剤内服、光線療法、生物製剤	光線療法や生物学的製剤を用いた治療を積極的に実施し、症状のコントロールを図ります。 乾癬外来（毎週金曜日）
●膠原病 皮膚筋炎、全身性エリテマトーデスなど	血液検査、皮膚生検など ステロイド治療、難治例には免疫抑制剤併用	症状に応じ、他科とも連携をとり、入院治療を含めた治療を行います。
●皮膚腫瘍	皮膚生検、全身検索 手術、化学療法、放射線療法	入院もしくは外来で治療を行います。 腫瘍外来（毎週月曜日）
●感染症 真菌感染症など	各種真菌検査 外用・内服療法	症状にあわせた抗菌薬で治療します。
●皮膚潰瘍	外用・内服、手術、持続陰圧療法	必要に応じ、入院加療します。
●色素異常症 あざ 色素斑	皮膚生検 冷凍凝固療法・手術療法	

2025年度診療実績

入院延べ患者数 4,769人 外来患者 24,513人（1日平均101人）

府立医大 皮膚科 医局 TEL・FAX 075-251-5586

URL <https://kpum-dermatology.jp/>

救急対応 皮膚科外来 TEL 075-251-5040（外来時間帯）

救急外来 TEL 075-251-5645・5646